

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	26	学校名	茨城県立勝田工業高等学校					課程	全日制		学校長名	吉 川 正 弘					
教 頭 名	長久保 順一										事務長名	大 森 康 弘					
教職員数	教諭	50	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手		7	事務職員	4	技術職員等	3	計	75
生 徒 数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合計クラス数					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	総合工学	226	14	219	15	223	15			668	44	18					

2 目指す学校像

教育活動全体を通して、生きる力を身に付けさせ、心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒の育成を図る。また、ものづくり教育を通して、グローバルな時代に主体的に対応できる創造力を備え、地域や産業社会に貢献できる人材の育成を目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	- 基礎学力向上指導を行っているが、生徒全体の更なる基礎学力の底上げと定着が必要。 - 授業や学習への取組が十分でない生徒が若干見受けられる。 - 系選択のためのガイダンスを有意義なものにし、専門性を高めた教科指導につなげたい。	- 基礎学力向上のための効果的な指導方法を検討し実践する。 - 成績不振者に対する指導体制の徹底と補習等の方策を学校全体で行う。 - 授業規律の確立と授業時間の厳守に努め、ベル席運動の徹底を図る。 - わかる授業の展開を図り、授業形態の工夫や研究授業の充実を図る。 - 工業選択教科の検討や実習内容の見直しを通して専門性を高める。
進路指導	- 平成28年度の就職内定率は100%であったが、就職試験対策への取組が遅れ気味となり十分な指導までには至らなかった。 - 企業との連携事業や企業実習等の内容は充実していたが、事前指導が必要であった。	- 年次毎に体系的なキャリア教育計画を立案し、意義ある進路指導につなげる。 - 生徒一人ひとりへの指導体制を確立し、希望する進路の実現を目指す。 - 企業見学会や企業実習等のさらなる充実と拡大を図り、対象年次との連携を深める（ものづくり人材育成委員会の積極的活用）。 3年次の具体的な就職試験対策を年度当初から計画的に実施する。
生活指導	- 頭髪・服装等指導の協力体制が維持されており、校内では問題はないが、登下校の際にも維持できるようにしたい。 - 生徒の問題行動による指導件数は多くはないが、自転車等による交通事故件数が増加傾向である。	- 生徒理解を踏まえた生徒指導を実践し、生徒指導に対する職員の共通理解を図るとともに、保護者からの信頼も得られる対応をとる。 - 教育活動全般を通して規範意識の醸成を図る。 - 挨拶指導、声かけ運動を通して、一人一人の生徒の理解と把握に努める。
特別活動	- 学校行事における生徒会活動は比較的活発に行われたが、生徒会の自発的な活動は十分ではない。 - 部活動加入率が70%を越え、運動部・文化部とも活発に活動している。	- 部活動の参加率の増加と、更に上位の大会を目指す意識の高揚を図る。 - 学校行事への生徒会の参画と生徒会の自主的活動の充実・拡大を図り、地域のイベントへも積極的に参加する。 - 生徒会が中心となり各種の学校行事を成功させる。

4 中期的目標

- 1 地域との連携を図り、活力に満ちた工業高校づくりを目指すとともに、自ら課題を見つけ、自ら行動できる態度の育成に努める。
- 2 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自らの興味・関心・進路希望による科目選択学習を充実させ、個性を伸ばす教育の実現に努める。
- 3 安全教育を実践し、安全で安心できる学校生活を実現するとともに、他人を思いやる豊かな心の育成に努める。
- 4 スポーツを奨励し、体力の向上と不屈の精神の錬磨に努める。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
キャリア教育の着実な推進	①地元企業等との連携事業や企業体験学習を拡大・充実させ、確かな学力(生きる力)を身に付けさせ主体的な進路選択ができるようにする。 ②大学等との連携事業、大学の出前授業、自校での進学補講等の充実を図り、国公立大学への進学を含め希望する大学への合格を目指す。 ③段階を追ったキャリア教育を通して勤労観や職業観の育成を図り、就職希望者の内定率100%達成、進学希望者の合格率100%達成を目指す。
個性を生かす教育の実現	④単位制総合工学科として適切な教育課程の研究と実践に努め、授業規律の確立と基礎学力の定着に努めながら、個々の生徒の専門性の深化を目指す。 ⑤基礎資格の合格率アップを目指すとともに、電気工事士や技能検定等の高度な資格取得への合格者を増加させ、ジュニアマイスター取得30名を目指す。 ⑥言語活動の充実を通して、コミュニケーション能力を高め、グローバル化した社会に対応できる人材を育成する。
豊かな心の育成と安全教育の推進	⑦基本的生活習慣を確立させ、規範意識の醸成と問題行動の未然防止を図る。 ⑧施設設備の点検と安全教育を充実させ、学校事故撲滅を目指す。 ⑨ホームルーム活動の活性化と、学校教育全体を通じた道徳教育の推進及び、ボランティア活動の充実を図り、いじめ問題等の未然防止に努める。
部活動・特別活動の活性化	⑩部活動への積極的参加を奨励するとともに、生徒の自主的活動の活発化と学校行事への主体的な参加を促す。 ⑪特別活動の充実を図り、学校行事等を通して自発的・自治的な態度の育成に努める。
積極的な広報活動の推進	⑫開かれた学校づくりを目指し、中学校への出前授業や公開授業を実施するとともに、地域や保護者・中学校等へ情報を発信することで、本校の特長をアピールする。 ⑬PTA行事等の保護者への周知を図り、参加を促すことによりPTA活動の活性化を図る。